

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	前期	2年次
科目名	広域発展看護学概論 Regional development of nursing					
担当教員	◎奥田真紀子 高橋晶 次橋幸男 河合のり子					
目的	超高齢社会に対応して、人々の療養の場や看取りの場として在宅医療が推進されている。これを踏まえ地域包括ケアシステムの一環として在宅看護を学び、在宅療養をする人々とその家族のQOLを目指し、多様なニーズに応じて看護展開を実践する基礎的能力を養う。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国の社会背景と在宅看護の意義を理解できる。 2. 在宅看護に関連する社会保障制度を理解できる。 3. 在宅看護の対象を理解できる。 4. 地域看護活動の概念を理解できる。 5. 地域看護活動の対象と場の特徴を理解できる。 6. 地域包括ケアにおける看護の継続性と多職種連携の重要性を学ぶことができる。 					
他科目との関連	これまでの学習したすべての科目とつながり、広域発展看護学実践論Ⅰ・Ⅱ、保健医療福祉行政論と密接に関連する。さらに、広域発展看護学実習Ⅱと密接に関連する。					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.9
	レポート	在宅で療養する対象を支える制度・在宅で療養する対象を支える多職種連携				0.1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	櫻井 尚子ほか，地域療養を支えるケア、在宅療養を支える技術（ナーシング・グラフィカ在宅看護論①、②），メディカ出版，2017					
参考資料	国民衛生の動向2016/2017，財団法人 厚生統計協会編集・発行					
備考 (受講上注意、事前学習等)						